

50歳のとき、ある和尚さんからこう言われました。

「人間は薄紙1枚はがされるように毎日、体力・気力ともに衰えていく。だからできるだけ薄紙1枚をつけるような生き方をしないとイケない」と。

「具体的には何をしたらいいんですか?」と聞くと、「駅でエスカレーターを使う人は薄紙を1枚1枚はがす生き方。一方、自分の足で階段を上る人は、逆に薄紙を1枚1枚重ねる生き方です」と教えられました。

私の住む池田町の駅にはエスカレーターがないので(笑)、私は会社から帰ると自転車に乗ることにしました。

## 毎日薄紙1枚をつけるような

## 生き方をしていきましよう

50代から今まで21年間ずっと、暗い中をライトを点けながら自転車20分間走っています。

家に帰ると、5時の鉄アレイ拳ぎを20回。次に、その鉄アレイを踏みます。内臓が悪い人にはこれが相当効きます。そして、寝る前には「真向法体操」を行います。

すると、50歳のときはあれほど体が固かったのに、今はとても柔らかくなりました。自転車に乗る

ことで足腰も強くなりました。

私があまりにも元

気なものですから、

ある方が川柳でこう

言ってくれました。

「足腰を 鍛え鍛

えて ガンで死ぬ」

と(笑)。

＊

私どもの会社では「ムカデアンジャー」と

いうムカデよけの薬

も作っています。

その販売にあたり、社員は数字なんか言わなくて

社員さんにキャッチコピーの川柳を考えてもらいました。

「もう二度と ムカデに敷居をまたがせぬ」

「これ一本 ムカデも男も 寄せ付けず」

なかなかいい感性だと思いませんか? ＊

以前PHPの冊子に、「苦言を呈してくれる人こそわが師」という記事が出たことがあります。

滋賀県の宮嶋さんという中小企業の社長さんの文章です。

「『ある勉強会の会長を務めております宮嶋と申します。

このたびはどうかよろしくお願ひします』と言って名刺を渡

した私の顔をしげしげと見つめ

(松岡さん)おもむろに『あなた全然あかな』と言われたのです。…

『あなたは社員を数字で追っ

てる社長の顔をしてる。うちの

社員は数字なんか言わなくて

も一人ひとりが自分のすべきことを考えて動く。それで毎年利益が出る。どっちがいい会社か分かるやろう」との答え。…

さすがに松岡さんの言葉にはぐうの音も出なかった。『では、どうすればいいのですか?』と聞いた私に:『あなた、今日、家に帰ったらお父さん、お母さんに今までわがままな息子で済みませんでしたと謝りなさい。まづそこからや。』

以来、松岡さんから時々ハガキが届く。『あなたもちよつとは、ましになった』『まだまだやな』との一言に苦笑いしながら、笑顔で生き生きと働いてくれて、いるわが社員の姿を見て、うちも少しはタニサケさんに近づけたかなあと思う今日この頃でした」

と、実に嬉しいことを書いてくださいました。

大事なことは人から学ぶ。そして言われたことを素直に聞く。そこをちよつと変えるだけでガラツと変わります。

経営者つて誰も褒めてくれません。だから経営者同士で「成長した」と言い合うと、お互いによくなるんかなあと思っております。

(宮崎県職業能力開発協会が開催した講演会より)

## 「日本一の知恵工場」に学ぶ!

～その5～

社長と社員の

## 人生道場

(株)タニサケ会長

松岡 浩

Matsuoka Hiroshi

